

2026 年 10 月 21 日

ハレックス、HalexForesight!の教育機関での導入事例を初公開

～甲南高等学校・中学校、気象情報の共有とパトライト連携で生徒の安全判断を強化～

株式会社ハレックス(本社:東京都、代表取締役社長:藤岡浩之、以下ハレックス)は、学校法人甲南学園 甲南高等学校・中学校(兵庫県芦屋市)における気象災害リスクモニタリングシステム「HalexForesight!」の導入事例を公開しました。当社が教育機関での導入事例を公開するのは、今回が初めてです。

同校では、教職員がそれぞれ異なる気象情報を確認し、学校として判断基準を共有しにくいことが課題でした。導入後は、雷接近情報や降雨予測を共通の画面で確認できるようになり、校内のパトライトとも連携。落雷事故防止ガイドラインに基づく活動中止や避難、生徒の帰宅判断を支えています。

実際に、部活動中に雷と強い雨雲の接近を確認し、雷雨になる前に活動を切り上げた事例もあります。ハレックスは、学校現場での具体的な活用方法と導入効果を紹介し、中学校・高等学校への提案を強化してまいります。

■甲南高等学校・中学校のコメント

学校法人甲南学園 甲南高等学校・中学校 事務室 ご担当者様

「何より大きかったのは、教職員全員が同じ情報を見て判断できるようになったことです。」

「危険だから活動を止めるだけではありません。今は帰らせない方が安全だと判断する場面でも活用しています。」

■気象リスクに伴う学校現場での課題

ゲリラ豪雨や落雷、熱中症など気象リスクが増える中、部活動や体育授業、学校行事で生徒が屋外に出る学校では、迅速な安全判断が求められています。一方で、教職員がそれぞれ異なる情報を見ていると、学校としての判断基準を統一しにくくなります。

雷接近時の活動可否や学校行事の開催、生徒の帰宅といった判断は、生徒の安全に直結します。教職員が共通の情報をもとに、根拠を持って判断できる仕組みが求められています。

■甲南高等学校・中学校での導入事例

甲南高等学校・中学校は、「世界に通用する紳士たれ」を建学の理念とする学校です。学校行事や部活動も活発で、生徒が屋外で活動する機会が多いことから、気象リスクへの対応を強化するため、HalexForesight!を導入しました。

・導入校:学校法人甲南学園 甲南高等学校・中学校(兵庫県芦屋市)

・導入製品:HalexForesight!

・主な用途:落雷事故防止ガイドラインの運用、部活動・体育授業・学校行事の安全判断、臨海学舎などの宿泊行事、熱中症対策

1.導入の決め手は「パトライト連携」

同校では、落雷接近時の注意喚起のために校内各所へ複数のパトライトを設置しており、システム選定ではパトライトとの連携が欠かせない条件でした。これに加えて、メール通知機能や雷予測、ピンポイントな気象情報の確認、柔軟な基準設定も高く評価されました。

2.落雷事故防止ガイドラインを現場で支える情報基盤として

生徒の安全確保を目的とした落雷事故防止ガイドラインの運用にあたり、雷の接近状況や雨雲の動きをHalexForesight!で確認しながら、体育授業や学校行事、部活動の安全判断を行っています。臨海学舎では運用マニュアルを作成し、現地でも確認しながら安全管理を行っています。

3.雷雨になる前の活動中止から、生徒の帰宅判断まで

ある日の部活動中、現地では小雨程度で、活動を続けられると思われる状況でした。しかし、HalexForesight!で雷と強い雨雲の接近を確認したため、活動を早めに切り上げました。その後すぐに雷雨となり、天候が悪化する前に対応できました。

また、雷や大雨の状況によっては、活動を中止した後も、生徒をすぐに帰宅させることが危険になる場合があります。同校では、現在の気象状況と今後の天候変化を確認し、帰宅させるか、校内で待機させるかの判断にも活用しています。

4.教職員が同じ情報を見て判断できるように

以前は様々なサイトを見ていた情報確認が一つの画面にまとまり、教職員が同じ情報を見ながら判断できるようになりました。メールによる事前通知やスマートフォンでの確認もでき、場所を問わず状況を把握しやすくなったほか、生徒や保護者、教職員に対しても同じ根拠をもって説明できるようになりました。

■今後の展開

今回の事例は、気象情報の確認から、教職員間の情報共有、警報設備による注意喚起、活動中止・帰宅判断まで、学校現場での具体的な活用方法を示すものです。

ハレックスは本事例をもとに、屋外での活動が多い中学校・高等学校への提案を強化してまいります。学校ごとの落雷事故防止ガイドラインや活動基準、通知先、警報設備を踏まえ、生徒の安全を支える運用を提案します。

甲南高等学校・中学校での導入事例は、ハレックスの Web サイトでご覧いただけます。

導入事例ページ:https://www.halex.co.jp/case/20261021_konan/

■HalxForesight!とは

HalxForesight!は、雷接近情報や降雨予測、直近の降水状況などを一元的に確認できる気象災害リスクモニタリングシステムです。ピンポイントな気象情報の確認、メール通知、スマートフォンでの閲覧、柔軟な基準設定に対応し、パトライトなどとも連携します。

HalxForesight!の詳細は、以下のページをご覧ください。

<https://www.halex.co.jp/service/weather-risk-foresight/>

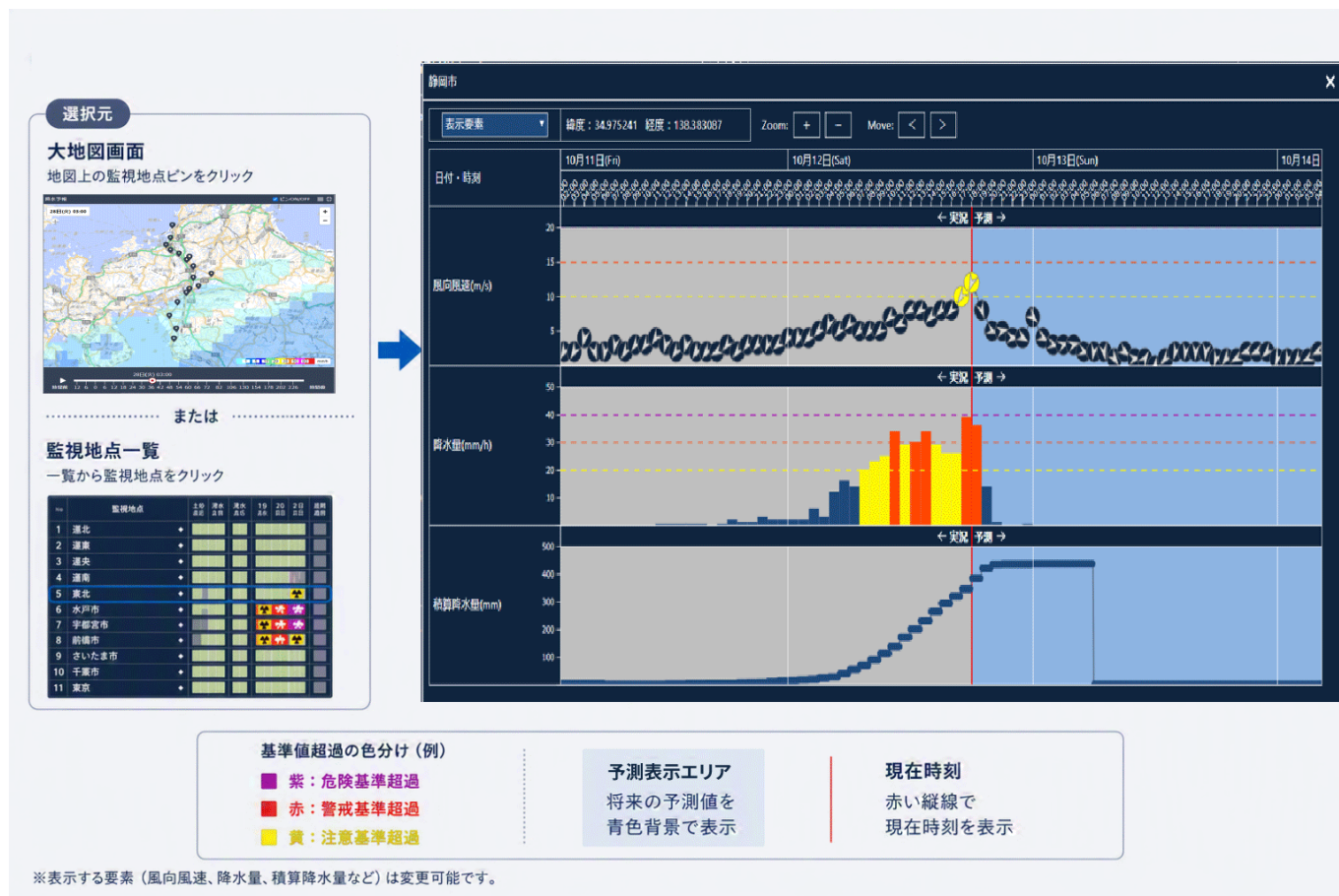


図 1) HalxForesight!の時系列ウィンドウ (画面イメージ)



図 2) HalexForesight!によるアラート通知の流れ

【会社概要】

会社名:株式会社ハレックス

代表者:代表取締役社長 藤岡 浩之

本社所在地:東京都品川区東五反田 2-20-4 NMF 高輪ビル 3 階

設立:1993 年

URL:<https://www.halex.co.jp/>

*HalexForesight!は、株式会社ハレックスの登録商標です。

*その他の商品名、会社名、団体名は、各社の商標または登録商標です。

【本件に関するお問い合わせ先】

■ 報道関係のお問い合わせ先

株式会社ハレックス

商品企画部商品企画課 担当:高橋

takahashintk@halex.co.jp

Tel:03-5420-4311

■ 製品・サービスに関するお問い合わせ先

株式会社ハレックス

ビジネスソリューション事業部 営業部

info_weather278@halex.jp

Tel:03-5420-4311